

2022年6月15日

各位

会社名 北越メタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 棚橋 章  
(コード番号 5446 東証スタンダード)  
問合せ先 専務取締役  
経営統括本部長 武仲 康剛  
(TEL. 0258-24-5111)

**第106回定時株主総会における当社筆頭株主の株主提案議案及び会社提案議案  
に反対する議決権行使に対する、当社従業員有志一同による反対の意見のお知らせ**

2022年5月27日付けの「第106回定時株主総会招集ご通知」でお知らせしましたとおり、当社は、2022年6月21日(火曜日)に定時株主総会(以下「本定時株主総会」といいます。)を開催いたします。

本定時株主総会において、当社の筆頭株主であるトピー工業株式会社(以下「トピー工業」といいます。)は、大洞勝義氏(トピー工業専務取締役)、竹内征規氏(トピー海運取締役)、天川一彦氏(元新日本製鐵(トピー工業筆頭株主))を取締役候補者とする取締役選任議案及び中村毅氏(トピー工業専務執行役員)を補欠監査役候補者とする補欠監査役選任議案を株主提案しています。

また、トピー工業は、当社の現取締役5名を取締役候補者とする当社提案の取締役選任議案のうち、武仲康剛専務取締役、米田康三独立社外取締役及び中野久独立社外取締役、並びに大倉正寿氏を補欠監査役候補者とする補欠監査役選任議案について反対の議決権行使を行うことを表明しています。

上記の株主提案などについて、当社取締役会は、2022年6月15日までに、当社の企業価値の源泉である当社従業員有志一同から大要別紙の内容の意見表明を受けましたのでお知らせいたします。

同意見表明によれば、当社従業員有志一同は、当社従業員を中心に据えた経営を目指す現経営体制を強く支持するとのことです。また、従業員の活躍の場を奪いかねないトピー工業の株主提案は、当社従業員のモチベーションを大きく低下させるおそれがあるものであり、到底賛成することができないとのことです。そのため、当社従業員有志一同は、トピー工業の株主提案及び当社提案に反対するとの議決権行使に対しては、断固反対の意見であるとのことです。

以上

(別紙)

2022年6月15日

北越メタル株式会社  
取締役会御中

北越メタル株式会社  
従業員有志一同

### トピー工業による株主提案に対する反対意見

トピー工業株式会社(以下「トピー工業」といいます。)は、第106回定時株主総会において、大洞勝義氏らトピー工業関係者を当社取締役、当社補欠監査役に選任するという株主提案をしているとのことですが、私たちは当該株主提案に強く反対いたします。

当社では、中期経営計画の一環として、次世代経営幹部候補の育成プログラムが実施されており、今年度からは、次世代リーダーを支える、次々世代を担うリーダー候補に対する教育プログラムも実施されております。当社の従業員は、これらのプログラムの結果、当社のプロパー従業員が経営幹部や役員として活躍できるようになったことに大きな期待を有しています。

それにもかかわらず、トピー工業による株主提案は、トピー工業が、その役員人事の都合等のためにトピー工業の関係者を当社役員に選任しようとするものであって、我々従業員の活躍の場を奪いそのモチベーションを低下させるものです。そのため、当社従業員有志一同は、トピー工業の株主提案を到底受け入れることができません。

また、トピー工業は、第106回定時株主総会において、当社取締役の再任に関する取締役選任議案の一部について、反対の議決権行使を行う旨を表明していますが、私たちは当該議決権行使に対しても強く反対いたします。

現在当社では、中期経営計画の下、従業員一同一丸となって計画の完遂に向け日々業務に全力で取り組んでおり、今がその重要な時期であると考えております。また、この計画を完遂するためには、従業員らの能力や適性を熟知した現経営陣の強いリーダーシップが必要不可欠です。

トピー工業の上記議決権行使の結果として当社の現経営陣が再任されないとすれば、当社による中期経営計画遂行に大きな支障が生じることとなりますので、当社従業員有志一同は、当社現経営陣の再任が阻止される事態に強い危惧を抱いております。

以上から、従業員有志一同は現経営体制を強く支持することを表明するとともに、当社が一丸となって取り組んでいる中期経営計画の遂行に支障を来し、従業員から活躍の場を奪うようなトピー工業の提案、及び当社取締役の再任議案に反対する議決権行使に対して断固として反対する旨の意見を述べます。

この従業員有志一同による反対意見は取締役会に対して提出いたしますが、当社従業員有志一同の考えを、株主様を含む当社関係者の皆様にも広く知って頂くことが重要であると考えております。そのため、当該反対意見は、会社を通じて広く周知されることを希望いたします。

以 上